

質問および要請書（第3回）

2011年6月15日

東京電力株式会社・取締役会長 勝俣 恒久 様

福島の人々に強いてきた過重な負担を、一刻も早く取り除くために ただちに福島原発（第一、第二あわせて10基）の 「廃炉」を決めてください

東京都日野市百草 971-174 古荘方
福島原発の「廃炉」を求める有志の会

私たちの会は、4月14日と5月18日に、合わせて81,023筆（東電宛）、82,096筆（内閣宛）の署名とともに、上記の要請をしました。3回目の提出を、6月22日に行ないます。

福島で作られた電気を使ってきた私たちの責任を感じてこの署名活動を始めました。福島現地からはもちろん、他の原発立地周辺からも、たくさんの署名が届きました。その中で、被災住民の激しい怒り・悲しみに出会って、足がすくみ、なすすべもない思いを何度もしました。同時に、全国からの本気・熱気に圧倒される思いを何度もしました。

「誰かが犠牲になる社会を終わりにしたい」「放射能なしに暮らしたい」「原発はいらない」という思いは、確実に広がり続けています。

今回は事前に、いくつかの質問を含めた要請書をお送りします。22日に参加できない方々にもお伝えしたいので、当日、書面でご回答いただきたいと存じます。

I 被災・被害地の原状回復責任および損害賠償責任の問題

1) 新たに出始めたホットスポットの住民対策

- ・ 国の避難指示区域以外でも高濃度放射能汚染地域の住民が避難する際に、きちんと補償することを明言し、一刻も早い避難ができるよう、対策を講じてください。

2) 被災・被害地の汚染除去について

- ・ 土壌汚染については、東電が責任を持って除去、福島原発施設区域への運搬・管理を行なってください。特に保育園・幼稚園・小中高・特別支援学校など、子どもたちが学ぶ場所の校庭の土の撤去と保管を、できるだけ早急に行なってください。一般家庭、とくに子どものいる家庭に対しても、庭の土壌汚染の撤去・入れ替えを実施してください。
- ・ 農地の汚染についても、上記と同様の対応をされた後、農作物が作付けできるような土作りに向けて、将来的に渡って責任を持って取り組んでください。
- ・ 大気汚染、水の汚染についての現状把握と対策を説明してください。

3) 被災・被害住民の健康管理・救済・補償について

- ・ 避難地域の住民、福島県内の放射能レベルの高い地域の住民に対する放射能被曝量の検査

および継続的な健康管理を徹底してください。

- 数年～10年以上先に健康被害が発見された場合の対応策、その場合の補償を、具体的に示してください。
- 福島原発事故による被災・被害者の PTSD について、補償対象に入れることを求めます。
- 福島県内の各学校にエアコンを設置してください。夏に向けて窓を開けられない状態では学業に支障が出ます。
- 避難地域住民の住居、生活費等の補償を速やかに取り組んでください。

4) とりわけ、子どもの被曝の危険性

- ☆ 緊急事態宣言が解除の時点までの措置だと、政府は説明していますが、たとえ緊急事態であっても、子どものヒバクを 20mSv/年に留めるべきではありません。ただちに撤回してください（政府に対して）。
- アメリカとの共同測定で見つかった土壤汚染地域について、国の避難指示対象地区ではなくても、土壤ならびに大気中の放射能汚染が高い地域については、学校単位の集団疎開についても、早急に検討してください。

5) 農業・漁業・林業・畜産業の補償について

- 放射能汚染水の垂れ流しを防止する対策を、どのように講じているか、示してください。
- 魚や海草の測定を、どの範囲で実施していますか。汚染が見つかった魚は、どう処理していますか。
- 農業、漁業、林業、畜産業に従事する者への生活補償は、どのように取り組まれていますか。

II 労働者・作業員の労働環境悪化の回避、被曝回避・放射線防護、健康管理について

- ☆ 100mSv→250mSv 改悪に反対です。緊急事態であっても、労働者・作業員の健康を守るために法令はきちんと守られるべきです。労働環境の悪化を、ゼツタイに避けるべきです。それが 100mSv→250mSv とした根拠を示してください（政府に対して）。
- 放射線管理手帳への記載がなされていないと報道されていますが、作業員の被曝線量を、どのように正確に把握していますか。正規・非正規社員の別なく、きちんとした被曝線量の管理・医療保障を実行してください。
- これまでに延べ何人の作業員が現地で作業しているのか、実数を示してください。また応募の仕方、雇用の仕方は、どうなっていますか。
- 被曝労働者への健康保障について、数年～10年以上先に健康被害が発見された場合の対応策および補償について、説明してください。
- 初期に作業中に水中で足首が高濃度汚染水に被曝した労働者は、その後どうなっていますか。

III 福島原発の現状把握について

1) 第一原発 1～4 号炉の正確な現状把握と、行程表見直しについて

- 各号機ごとの現状・データの詳細を公表してください。
- 行程表の改訂版でも、最終的な目標時期が変わらないとしていますが、間違いありませんか。

2) 第一原発5、6号炉および、第二原発1～4号炉の正確な現状把握について

- ・ 実際にはどれだけ現状を把握していますか。各号機ごとの現状・データの詳細を公表してください。
- ・ 汚染水はどこから来たのかを明らかにしてください。

IV その他

- ・ 使用済み核燃料は、どこにどのような形でどれだけの量を保管しているのか、最新のデータを示してください。
- ・ 貴社が建設し、運転してきた柏崎刈羽原発を早急に廃炉にし、責任をもって処理してください。また、建設中の東通原発の中止を決めて下さい。さらに電源開発が進めている大間原発の計画を中止するよう要請してください。活断層の上に、原発を作ることは危険です。
- ・ 情報公開を徹底して行なってください。後出で「実は放射能、出ました」と言われたときは、すでに多くの方が被曝しています。正確な情報を公開することが事故を起こした企業の責任です。社員の被曝が新聞1面で報道されると、現場作業員の被曝はもっともっとひどいんだろうな、と反射的に想像してしまいます。
- ・ 過去、原発を推進してきた会長・社長・役員退職金を返還してください。
- ・ 40年以上も原発政策を推進してきた貴社の上部幹部、歴代政府、国会議員の賠償責任を果たしてください。原発は被曝なしでは動かないと知りながらも机上の論理で進めてきたことに対してきちんと謝罪し、即刻原発を廃炉にする方向に動いてください(政府に対しても)。
- ・ 今後、エネルギーの転換を考えていますか。
- ・ 電力供給量と需要量をリアルタイムで、もっと分かりやすい形で公表してください。
- ・ 貴社は、これでもか、これでもかと、電気を使う生活を推奨してきた結果、ここ数年間で、各家庭の生活の中で電気への依存度が格段に高まりました。これ以上、需要の拡大を煽らないでください。先日、世界の中で日本が最も明るいとテレビで報道されていました。恥ずかしいと思います。節電の方法として、熱源を電気で取ることから撤退するよう、貴社は率先してアピールしてください。